

環境業界研究！スーパーエコタウン見学ツアーの開催について（報告）

1 名 称 環境業界研究！スーパーエコタウン見学ツアー

2 日 時 令和元年9月4日（水） 9時00分から16時40分まで

3 参加者数 13名

（環境業界に興味のある大学生・大学院生）

区分	募集人数	申込人数	参加人数	参加率
合計	20名	17名	13名	76.5%

4 開催内容

9:00	集合	東京テレポート駅 集合・出発
9:45	業界研究講義	「循環型社会の形成に向けた産業廃棄物処理業の役割」 公益財団法人東京都環境公社 常務理事 齊藤 和弥
10:25	施設見学①	株式会社アルフォ（食品廃棄物飼料化施設／バイオガス発電施設）
11:25	昼食休憩	テレコムセンタービル 5F GREEN'S CHEF
13:10	施設見学②	株式会社リーテム（廃情報機器類等リサイクル施設）
14:20	施設見学③	成友興業株式会社（埋設廃棄物・泥土リサイクル施設）
15:30	意見交換会	先輩社員との意見交換会
16:40	終了	東京テレポート駅 到着・解散

5 使用資料 <配布物>

- | | |
|-------------------------|-----|
| (1) 次第 | 1部 |
| (2) 業界研究講義資料 | 1部 |
| (3) アンケート | 1部 |
| (4) スーパーエコタウン見学会 リーフレット | 1部 |
| (5) その他各社資料（施設見学時） | 各1部 |

6 開催状況

【業界研究講義】



【スーパーエコタウン施設見学 株式会社アルフォ】



(事業概要説明)



(施設見学の様子)

【スーパーエコタウン施設見学 株式会社リーテム】



(事業概要説明)



(施設見学の様子)

【スーパーエコタウン施設見学 成友興業株式会社】



(事業概要説明)



(施設見学の様子)

【先輩社員との意見交換会】

2グループ（各社先輩社員・公社事務局）に分かれて意見交換会を実施しました。各グループにて、先輩社員との質疑応答や学生の感想の発表、先輩社員からのアドバイス等の議論を行いました。



(意見交換会の様子①)



(意見交換会の様子②)

【集合写真】



7 アンケート結果（抜粋）

皆様からいただいた主なご意見を抜粋してご紹介します。

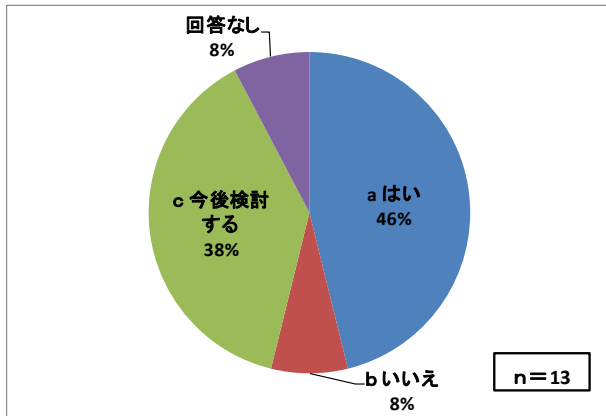
【見学会ツアーへ参加した理由】

- ・現在、環境問題を扱うゼミに所属していることもあり、様々な業界について知りたいと思ったため、参加しました。
- ・環境系のゼミナールに所属しており、みんなで参加しようという話になり、参加しました。
- ・資源循環分野への就職に向けて大学や資格で知識を得ているものの、現場を見たことがなく、実際働く時に、どのようになるかを知りたいために参加した。
- ・食品廃棄物がどのように処理されてリサイクルされるのかを詳しく知りたかったため。
- ・大学で環境問題について学んでいて、環境業界に関心があるから。特に、途上国におけるゴミ問題の解決に取り組みたいと考えていて、日本の先進的な技術を知りたいと思ったから。
- ・産廃事業に関係する企業へ就職する予定なので、業界研究もかねて、理解を深めたいと思い参加しました。
- ・就職活動の参考にしたいため。
- ・大学の講義でバイオマス発電やマイクロプラスチックに興味を持ち、自分で調べるうちに廃棄物に興味を持ち、参加しようと思った。
- ・SDGs 未来都市に関心を持っていて、環境について詳しく知りたかったから。
- ・環境系の研究室に所属しており、廃棄物エネルギーに関する研究をしているため、廃棄物処理に興味をもつようになったから。
- ・環境法を学んでいて、自分が学んでいる内容がどのように社会に役立っているか気になったから。
- ・環境法について学んでいるので、実際に使っている現場に行ってみたかった。

【参考になった点】

- ・各企業の取組について知ることができ、どの企業も資源を無駄なく活用しようと尽力していた点。
- ・意見交換会において、就活に関してのアドバイスもいただくことができ、とても参考になりました。
- ・普段生活している中では、知ることができないようなことを知れた点。
- ・実際に仕事をしている人の話を聞いたので、どんな会社かよく分かりました。
- ・食品廃棄物には種によって塩分や脂質などバラバラで大丈夫なのかなと思っていましたが、しっかりと管理している所。
- ・鉄ゴミや鉄ではないゴミもしっかりと分別することを意識することで環境へのダメージを軽減させられること。
- ・土壌の塩害を失くすために科学的な分析を行っていること。
- ・普段の生活では目に見えない部分を知ることができ、また、実際に施設見学をして現場の雰囲気や働くイメージを掴めたところが良かったです。
- ・アルフォ、リーテム、成友興業の社員さん達と一緒に色々なお話を聞かせていただけて、実際に現場に行き、とても勉強になりました。無駄のない処理、産廃に付加価値を付けて新しく生まれ変わる工程を見ることができて、とても面白かったです。
- ・生活の裏で尽力している人たちの存在、ゴミの多さ。
- ・各企業様が行っている取組や課題への対策。企業間で連携をとっていること。
- ・普段はなかなかイメージのつかない現場を見せていただいたこと。
- ・業界研究講義が面白く、もっと長くやっても良いと思った。
- ・勉強しているだけでは得られない情報を得ることができた。

【資源循環分野への就職の検討】



項目	回答数	%
a はい	6	46%
b いいえ	1	8%
c 今後検討する	5	38%
回答なし	1	8%
総計	13	100%

【大学生や大学院生に対する資源循環分野へのアピール方法】

- ・そもそも存在を知らないという人もいると思うので、リユースやリサイクルの製品のパッケージなどに工程などを載せる。
- ・機器での廃棄物の選別や処理等を詳細な過程を含めて説明する。
- ・現在の廃棄物量が多いことや分別を一人一人が意識して行わなければ、誰かが負担することになることをプラスしてパンフレットとして学生に配布すると関心を持つようになるのではないかと思います。
- ・学生になじみ深くするために、SNS などを利用し情報発信を行う。
- ・これからの地球のために必要不可欠な業界（ニーズのある業界）だとアピールする。
- ・地球環境問題を肌で触れるように感じ取れるようなことをしてもらい、他人事ではなく自分事で考えることで、もっと環境について考えることができると思う。ゴミ＝資源という考え方を持ってもらうために、ゴミからどのように生まれ変わるか、その過程を知ってもらう。
- ・このまま資源循環を行わない場合、地球に住めなくなるのは何年後かなど、自分の身にせまる危機を具体的に紹介する。
- ・スーパーエコタウンというものがあるという事など企画自体を知ってもらうことに注力すると、とっかかりができると思われる。
- ・自分たちの生活に深く関わっている点。
- ・貴重な資源を無駄にしないことの重要性、仕事のやりがい等。
- ・大学で今自分がやっていることを前面に出すこと。
- ・環境系を学んでいる人に対しては、学術的な事を絡めながら説明すれば関心を持つと思う。

以上